

私を変えた友人たち

ヘイズ・ブライス

皆さんこんにちは。今日は、私を変えた友人たちについて話します。

日本に来てから、世界のさまざまな国から来た留学生と交流する機会がありました。異文化の人々と交流する中で、新しい考え方に触れることができ、私の価値観を変える出来事となりました。今日は自分の経験をまとめて、私が学んだことについて話したいと思います。

私は今年の3月に横浜国立大学に来て、4人のドイツ人と友達になれました。彼らは、地球の反対側から来たのに、共通の興味やユーモアがたくさんあり、いろいろなことについて話しているうちに、ディープな話もしました。ある日、彼らから「日常生活でやる気を起こさせることは何？」と聞かれ、私はそれに答えられませんでした。今までこのような質問をされたことはなかったし、これについて考えたこともありませんでした。ドイツ人の友人らが真剣な話題について簡単に話せる姿を見て、自分もそうなりたと思いました。

そこで、私は「なぜ今までこんなことについて考えたことはなかったのか」「これを考えることで何か役に立てるのか」と自問自答しました。それ以来、私はディープな話にもっと参加し、自分の意見を出しながらその答えを見つけようと行動に移しました。ここで、例を出したいと思います。ドイツ人の友人と沖縄に、旅行しに行った時、たまたま、オーストラリアの友人から悩み相談が来ました。彼の職場は今まで男性しかいませんでした。しかし、最近、一人の女性エンジニアが入ってきて、職場の雰囲気は気まぎらなくなったそうです。この話をドイツ人の友人にシェアしました。そこで、自分の意見を言いました。例えば、「なぜ彼女がいる時に彼らの話し方が変わるのか？それは、彼女を尊重した行動なのか？それとも性差別なのか？」と自分の疑問を彼らに投げかけることができました。

この行動から自分自身の成長を感じることができ、また2つのことを学びました。1つ目は、自己反省をすることは欠かせない(かかせない)ことです。質問に答えられなかったとき、自己反省をしたおかげで、自分について多く学び、自分の意見を持つようになりました。

2つ目は、他人の意見に耳を傾けることは非常に重要であることです。ディープな話の中で、意見が違った事もありましたが、オープンマインドでその違った意見に積極的に耳を傾けることで、物事に対する新しい視点を学ぶこともできました。

以上の2つのことがドイツ人の友人から学んだことです。みなさんも周りにいる留学生とたくさん交流してみてください。私みたいに変わるかもしれません。

以上で、スピーチを終わります。ご清聴ありがとうございました。